真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	栃木SC支援事業	担当課・係	教育委員会　スポーツ振興課　指導係
政策名　No	1　「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	6　生涯スポーツ・レクリエーションの振興		

	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
成果指標	何らかのスポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	%	62.6					

事業内容

真岡市は、「市民ひとり１スポーツ」をスローガンに体力の向上に努めており、特に、スポーツを通して青少年の健全育成を図ることは、必要不可欠なことなので、栃木ＳＣの豊かな経験と卓越した技術をもとに、本市の子どもたちに夢を持つことの大切さ、フェアプレー精神の重要性など、プロの選手に直接触れることで伝えられるとともに、栃木ＳＣの支援、更に本市のＰＲを実施している。
栃木ＳＣ支援真岡市実行御委員会を組織する。
事業内容
①こどもサッカー教室の開催（栃木ＳＣ選手による指導及びサイン会等）
②真岡市民デーの開催（栃木ＳＣのホームゲームでの公式戦観戦及び真岡市のＰＲ・物産販売等）

前年度の課題（Check）

児童生徒数の減少や余暇の多様化に伴う少年スポーツ人口減少の影響を踏まえつつ、市民の本事業への参加意欲向上を目指し、事業周知の強化を図る。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
①こどもサッカー教室の開催
市内小学生を対象とした、栃木SCの選手・コーチによる指導を受けることができる「栃木SCこどもサッカー教室」を、前年度に日程調整不調にて開催できなかった分も含め２回開催した。
・8/23(土)開催(R6繰越分)参加者数：26名(会場：Earthいちごスポーツ交流館)対象：小学1～3年生
・11/15(土)開催(R7分)参加者数：46名(会場：真岡ハイトラ運動公園陸上競技場/サッカー場)対象：小学1～6年生
②真岡市民デーの開催
栃木SCホームゲームにおける「真岡市民デー」を開催し、市民を無料招待したほか、バスツアーや物産ブースでの本市特産品の販売なども行った。
・11/2(日)開催、会場：カンセキスタジアムとちぎ、対戦相手：FC岐阜、申込者数：657人

【2】結果と課題（Check）
①こどもサッカー教室の開催
サッカー教室への参加ニーズがある少年サッカーチームの大会予定を考慮した日程調整を行わなかったため、申込者数が伸び悩んだ。
②真岡市民デーの開催
栃木SCとの日程調整を早めに行い、ゆとりのある事業準備を行う。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
①こどもサッカー教室の開催
開催日の調整に生かすため、少年サッカーチームの大会予定等を把握する。
②真岡市民デーの開催
開催希望日を栃木SCに伝え、早期の開催日確定を図る。

(2) 長期的な計画で検討すること
①こどもサッカー教室の開催
栃木SCと共に、より多くのこどもたちが教室に魅力を感じるためのコンテンツを用意する。
②真岡市民デーの開催
真岡市ブースにおいて、栃木SCに協力を仰ぎサッカーに関連したコーナーの開設を検討する。